

都道府県別指導体制状況(令和3年3月31日現在)

※GAPについて、高い水準で指導できると推定される指導員数(指導に必要な知識を習得するための研修を受講し、3件以上の指導実績がある者の数)

(単位:人)

都道府県	指導員数
北海道	240
青森県	137
岩手県	56
宮城県	8
秋田県	33
山形県	170
福島県	200
茨城県	176
栃木県	47
群馬県	16
埼玉県	88
千葉県	51
東京都	106
神奈川県	34
山梨県	15
長野県	142
静岡県	103
新潟県	74
富山県	78
石川県	90
福井県	63
岐阜県	123
愛知県	150
三重県	151
滋賀県	30
京都府	35
大阪府	21
兵庫県	57
奈良県	29
和歌山県	25
鳥取県	6
島根県	49
岡山県	8
広島県	10
山口県	38
徳島県	22
香川県	47
愛媛県	60
高知県	49
福岡県	90
佐賀県	38
長崎県	45
熊本県	37
大分県	78
宮崎県	95
鹿児島県	18
沖縄県	35
合計	3,273

出典：農林水産省生産局農業環境対策課調べ（都道府県から聞き取り）